

定期貯金サマーキャンペーンの優績支店を表彰

10月11日(火)、当JAが6月から8月に実施したサマー総合キャンペーンで優秀な実績を上げた支店を対象に、表彰式がJA秋田なまはげ会館で行われました。佐藤広美組合長からキャンペーン期間中の個人定期貯金の目標を達成した支店の支店長に目録が贈られ、役職員が支店職員の功績を称えました。

受賞した支店は次の通りです。

▽第1位 天王支店▽第2位 御野場支店▽第3位 飯島支店▽達成賞 追分支店

当キャンペーンでは、「サキホコレ」の引換券や直売所のお買い物券などが当たる施策を実施しました。今後も多様なサービスの提供に努めます。



キャンペーン中の定期貯金の実績が優れた支店を表彰しました

金足農業ら3高校にJA共済連秋田からトラクター

10月12日(水)、JA共済連秋田から県立金足農業高校、秋田北鷹高校、増田高校に農業実習用の中型トラクターが贈られました。農業分野の人材育成への支援のため、昨年度から県内の農業関連学科がある高校を対象に行っているもので、当JA管内の高校では今回が初めてです。

目録を受け取った県教育庁高校教育課の佐藤進課長は「いただいたトラクターを大切に使い、農業現場や農業関連業で活躍できる人材を育成していきたい」と話しました。金足農業高校生物資源科3年の薄田詩織さんら各校の生徒が、実際にトラクターに乗って座席の座り心地や操作部の仕様などを確認しました。



寄贈されたトラクターに乗る生徒

NEWS & TOPICS

JAグループ基本農政確立全国大会

10月14日(金)、食料安全保障に関する政策や予算の拡充と与党に要請するJAグループ基本農政確立全国大会が開かれ、当JAの佐藤広美組合長ら全国JAの代表が参加しました。生産費の高騰に苦しむ生産現場の状況を伝え、消費者への食料の安定供給や農業を持続させるため、輸入依存度の高い品目の増産への支援や米粉の利活用の推進、環境負荷や生産コストの軽減への支援、現場の実態に沿った品目別対策などを求めました。

13日(木)にはJA秋田中央会および県内JAの代表が県選出の国会議員5名に、食料安全保障の観点から万全な予算の確保や政策の確立を要請しました。



食料安全保障の強化のため万全の支援を求めました

秋田地区営農フェア

10月21日(金)と22日(土)、秋田地区営農フェアが雄和支店の敷地内で開かれ、秋田市内の生産者が多く訪れました。営農経済部の職員が生産者に今年産の生育経過などを伺ったり、肥料や農薬、生産資材の効果的な新商品を提案したりしながら、予約注文を受け付けました。国の肥料価格高騰対策事業の申請についても案内しました。

会場では「サキホコレ」の試食や農薬散布用ドローンの実演なども行われました。品種・等級当てクイズコーナーでは、生産者が玄米の形や、今年産米の格付け理由で多い青未熟粒や充実度不足、カメムシの着色粒を観察して、見極めようとしていました。



肥料や農薬などについて話し合う生産者とJA職員